

# ステージ I 通信

令和5年9月15日

ステージ I スローガン

元気 もりもり 勉強 ばりばり やさしさ ぽかぽか



## 2学期 スタート!!

2学期がはじまり3週間が過ぎました。2学期は、文化発表会、バス旅行（3，4年生）、郷学館マッチなどの行事を計画しています。また、学習面においても各学年の内容が深まる時です。1日1日を大切に一人一人が実りの多い2学期になることを願っています。

今学期も保護者の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いします。

## 学習規律を身に付けよう

2学期は1年の中で一番長い学期です。勉学の秋、スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋というように、秋という季節は何をするにも最適な時期です。秋が一段と深まるこれから、学習に集中して取り組み、大きな実（力）をつけることができるように、2学期の初めは学習規律をしっかりと身に付けることに重点をおいて指導をしていきます。

1つ目は、学習の時間に集中して取り組むことができるようにするために、休み時間は「**かつお**」（前の時間の**か**たづけをすること、つぎの時間の学習の準備をすること、**お**トイレに行き、**お**茶を飲むこと）をすることです。つ（次の時間の学習の準備）については、学習道具が揃わなかったり、忘れ物が多かったりすると、様々な活動が十分に行えず、どうしても集中力が途切れがちになります。学習の理解に大きな支障をきたすこととなります。ご家庭で今年度初めに配布しました、「学習道具の準備」（ピンク色のプリント）で確認をお願いします。次の日の用意の確認や声掛けもお願いします。

2つ目は、時間にけじめをつけ、休み時間と学習の切り替えができるように授業の始まりと終わりに**立腰**に取り組むことです。

立腰教育とは哲学者・教育学者である森信三氏が提唱した腰骨をいつも立てることで、集中力、持続力の根本を育てるメソッドです。子ども達は、学習に取り組む前に1分程度正しい姿勢を意識して目を閉じます。この積み重ねで子ども達は心と身体を整え、成長していつてほしいです。

### 立腰



やる気、集中力、持続力といった精神面での効果があげられています。人間の心と身体は表裏一体のものであり、「心を立てようと思ったら、まず身を起こす（心身相即）」ということを説かれています。

### 立腰の効果

- やる気が起こる
  - 集中力がつく
  - 持続力がつく
  - 頭脳が明晰になる
  - 勉強が楽しくなる
  - 成績がよくなる
  - 行動が俊敏になる
  - バランス感覚がよくなる
- など

# 気持ちのよいあいさつができる ステージⅠにしよう

7月に、ステージⅠであいさつ運動をしていました。みんなで「おはようございます」のあいさつをかけあうことで、朝をさわやかに迎えるとともに、「気持ちのよいあいさつ」の意識が高まっていくことを願って、あいさつ運動に取り組みました。

また、3年生の算数科では、自分たちの身の回りの中から課題を見つけ、それを解決していくために、データを集めて整理し、棒グラフにまとめ、結果から考察するという学習をします。この学習で、3年生の子どもたちがあいさつについてアンケート調査をし、その結果から、どのようにしたらもっと気持ちのよいあいさつができるようになるかを考えました。そして、考えたことをステージⅠ集会で発表しました。

これらの活動をきっかけにあいさつへの意識が高まってくれたらと思っています。

## 【あいさつをしていますか】

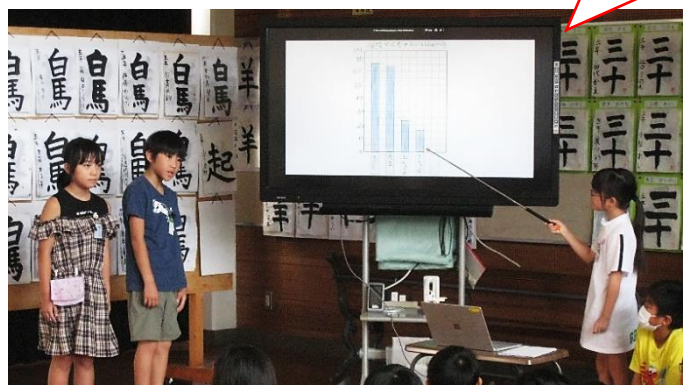
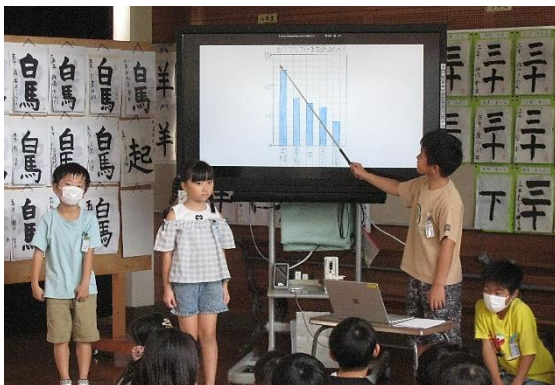
言われてしている人は、堂々とはっきり、恥ずかしがらずにあいさつをするともっとよくなると思います。

## 【どこでしていますか】

学校だけでなく家族や地域の人たちにも立ちどまって自分からあいさつをするともっとよくなると思います。

## 3年生の子ども達

は、発表の内容をしっかりと覚え、分かりやすく堂々と発表できました。



## 【学校ではどこでしていますか】

玄関や他の学年のろう下でもあいさつをすと、1日がもっと楽しくなると思います。

## 【学校ではだれにしていますか】

上級生にもあいさつができるといいと思います。上級生にあいさつをするのは恥ずかしいと思いますが、恥ずかしがらずにしましょう。そうすると、あいさつ上手な学校になると思います。

あいさつ・・・何気ないことのように思うが、このあいさつができることは素晴らしいことのような気がする。まあ、恋人どうしなら目と目で言葉を交わすのもいいかもしれないが・・・。やはり、口に出して朝のさわやかな気持ちを相手に伝え、それに答えるって元気のもとみたいな気がする。たとえ親子であれ、言葉を交わすというのは大切なことだと思う。誰かの話の中にも、あいさつを交わさないということは相手を認めないということじゃないかといわれた。私たち、みんな自分が今、生きて命を大切にしたいと願っているように、あなたの横の、後ろの、前の友達、そしてみんな、自分を大切に生きていきたいと願っていることを、いつも忘れないでほしいと思う。人を認め、あいさつのできる人達になってほしいと思う。 (私の先輩の先生の言葉から)